事務事業調書	No	63	課 名	情報システム課	起 案 者	石川芳弘
平成23年度			係 名	開発係	決 裁 者	野田泰司
事 業 種 別	施設整備		区 分	継続	業務一覧No	9,15
事務事業名	システム開発事業				他 係名	情報推進係
					他係 業務一覧No	情報推進係(4)

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 4 行政経営 1 行政運営 2 電子市役所の構築 1 事務の電子化の推進	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	10-5-30
		総合計画以外の計画	情報システム最適化とグリーンＩＣＴ計
		関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	無		
実施方法	一部委託	委託先	民間企業
実施期間	開 始	経 過	終 了 / 期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	職員が	～になる	電子化された事務処理を行うことができるようになる
事務事業の内容	行政事務の簡素・効率化を図るため、業務の電子化を推進する。			
事務事業進捗状況	【Ｈ22年度】①福祉総合システム（児童手当システム・生活保護システム）改修（子ども手当創設・生活保護データシステム国連携）②国保連レセファイル変更に伴う税総合システム（国保ｻﾌﾞｼｽﾃﾑ）と福祉総合システム（医療システム）改修③住民情報システム住民基本台帳法改正対応(仕様協議) 【Ｈ21年度】①住民情報システム開発（運用）、②税総合ｼｽﾃﾑ（国保ｻﾌﾞｼｽﾃﾑ）国保資格更新③税総合ｼｽﾃﾑ（市県民税・収税ｻﾌﾞｼｽﾃﾑ）年金特徴化対応等回収			
改善・対策の履歴	・システムテスト実施計画・結果報告の運用を徹底しました。(H22年度58件) ・システムの開発・修正における原課との打合せ内容の記録を徹底しました。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		424,250	255,615	237,144	214,308	139,301	132,939	214,225
	財 源 計 a		393,000	224,365	205,894	183,058	110,687	104,325	195,400
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	15,000	30,514	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	393,000	224,365	205,894	183,058	95,687	73,811	195,400
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		31,250	31,250	31,250	31,250	28,614	28,614	18,825
	内 訳	従 事 職 員 数	4.15	4.15	4.15	4.15	3.80	3.80	2.50
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

４ 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	新規システム開発委託	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	委託事業(一式)	活動の総事業費f 実績	85,710	125,688	30,275	
				単位コストg=f÷b 実績	85,709.70	125,687.50	30,274.50	
	活動②	活動名（活動内容）	既存システム修正委託	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	委託事業(一式)	活動の総事業費f 実績	174,270	88,620	102,663	
				単位コストg=f÷b 実績	174,270.20	88,620.00	102,662.50	
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

５（１） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	新規に開発したシステムの数(件)	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績(単位)	1.00	1.00	1.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		電算機適用申込によるシステム改修件数(件)	見込(単位)	35.00	35.00	35.00	35.00
			実績(単位)	55.00	38.00	38.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

５（２） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	・法制度改正などによるシステム修正は計画どおり完了しました。 ・住民情報システムの平成２２年度分の開発は計画どおり完了し、予定どおり運用開始できました。 ・平成２４年７月施行の住民基本台帳法改正対応の準備（仕様協議）を開始しました。

６ 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	・ホストオンライン・バッチ修正委託の条件付一般競争入札を進めました。平成２２年度１件。
	成果1，2	・電算適用申込による自己開発は計画どおり完了しました。 ・住民情報システム開発完了・運用開始を受け、システム導入効果分析を行いました。

７ 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	・制度改正による既存システムの修正や当初処理は、関係部署とシステムテスト実施計画をたて、相互確認のうえ十分なテストを実施します。

８ 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	・新システムの開発は実施計画、情報システム最適化とグリーンＩＣＴ計画、ＩＣＴ推進基本計画等に基づき計画的に行っていきます。 ・新システムの開発や制度改正による既存システムの修正は、迅速かつ正確に対応するとともに、広域共同利用等も検討します。